

【Q】 「前期繰越金額の再複写」の処理手順を教えてください。

【A】 1. 処理イメージ

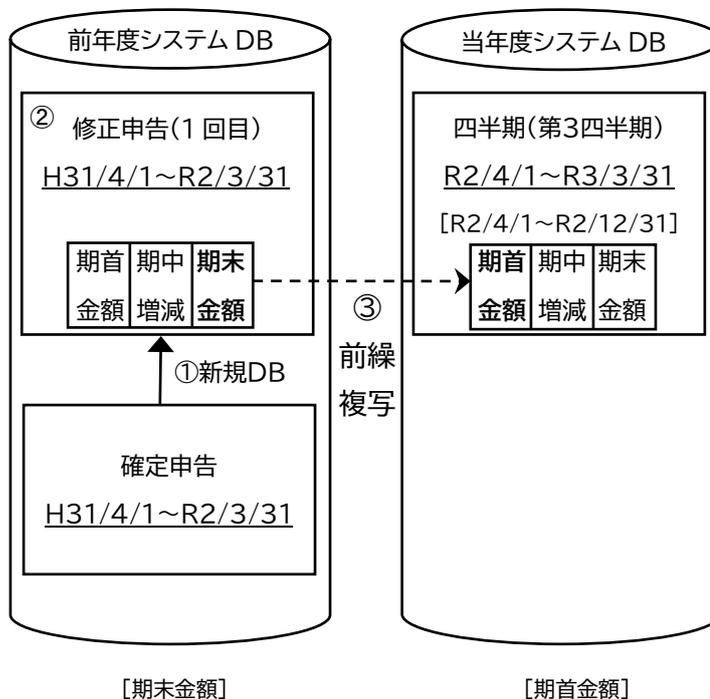
(1) 状況

当期が令和3年3月期の3月決算法人に、前期の修正申告が発生したケースとします。

下記の①と②は処理済みで、③が現在の状況とします。

- ① 【済】前期の確定申告から前期の修正申告データを「新規DBの作成(複写)」で作成する。
- ② 【済】前期の修正申告の処理を行う。
- ③ 【未】前期の修正申告から当期の処理中のデータ(第3四半期とします)に「前期繰越金額の再複写」を行う。

期	前期	当期
システム	前年度版 (令和元年度版)	当年度版 (令和2年度版)
事業年度	<u>H31/4/1~R2/3/31</u>	<u>R2/4/1~R3/3/31</u>
処理区分 (データ名)	修正申告 (1回目)	月次試算・四半期試算 (第3四半期)
計算処理期間		R2/4/1~R2/12/31
備考	前期繰越金額の再複写時に選択するシステム年度は、 再複写先の当年度版(令和2年度版)を選択します。	



確定申告	100	
↓ ①新規DB		
修正申告(1回目)(作成直後)	100	四半期(第3四半期)(再複写前) 110
②修正申告(1回目)(処理後)	120	→ ③前繰複写 → 四半期(第3四半期)(再複写後) 120

2. 処理手順

- ① 運用管理システムの「23.前期繰越金額の再複写」ボタンをクリックします。
- ② 再複写先のシステム年度(当該例では令和2年度版)を選択し、OKをクリックします。

行	システム年度
1	令和2年度版
2	令和1年度版
3	平成30年度版

(※)再複写先のシステム年度が表示されない場合は、PCに当該年度のシステムがインストールされていないためです。

【ご参考】[オンラインQ&A:0089800](#)

- ③ 対象とする法人を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

コード	頭	法人名
1	テス	テスト法人

(※)グループ利用の場合は、再複写を行う法人を1社選択します。

(複数法人の一括再複写はできません。)

- ④ 再複写先を選択します。

処理区分	事業年度	ケース名
月次試算・四半期試算	令和2年4月1日～令和3年3月31日	第3Q

(※)再複写先に指定できる処理区分は、下記をご参照ください。

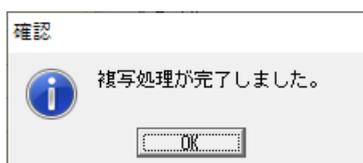
【ご参考】[オンラインQ&A:0089798](#)の「2. 再複写先」

⑤ 再複写元を選択します。

【ご参考】再複写が可能な権限は、[オンラインQ&A:0098148](#)をご参照ください。

⑥ 再複写元と再複写先に誤りがないことを確認し、間違いがなければ「複写」ボタンをクリックします。

⑦ 更新処理が完了した旨のメッセージが表示されたら処理完了です。



⑧ 再複写先の年度版システム(当該例では令和2年度版システム)を起動し、再複写先のデータに前期繰越金額が正しく複写されていることを確認します。

(※)複写項目については、運用管理システムのフルメニューの「複写項目」ボタンで表示されるPDFで確認いただけます。